

CPAP を使用している睡眠時無呼吸症候群患者は寿命が延びることが

グローバル研究によって判明

- 『The Lancet Respiratory Medicine』に掲載された史上最大規模のメタ分析により、CPAP 療法の長期的な利点が明らかに
- 睡眠時無呼吸症候群の患者において、CPAP 療法は全死亡リスクを 37%、心疾患による死亡リスクを 55% 低下させることが判明

睡眠・呼吸・在宅ケアに特化したヘルステクノロジーの世界的リーダーである Resmed（レスメド）は、[『The Lancet Respiratory Medicine』](#) に画期的なメタ分析が掲載されたことを発表しました。本研究は、閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）患者において、CPAP 療法が死亡リスクを大幅に低減することを示しています。世界中の 100 万人以上の睡眠時無呼吸症候群患者のデータを分析した本研究は、CPAP 療法が OSA の症状を緩和するだけでなく、寿命を延ばす可能性があることを示す、これまでで最も強力なエビデンスを提供しています。

OSA（閉塞性睡眠時無呼吸症候群）は世界で 10 億人以上が罹患しており¹、その 80%以上が未診断・未治療のままです²。この慢性的な睡眠関連呼吸障害は、日常生活の機能を低下させるだけでなく、高血圧、糖尿病、心血管疾患、脳卒中等の深刻な健康問題と関連しています³。本研究は、未治療の OSA が全死亡および心血管疾患による死亡の主要なリスク因子であることを改めて示しましたが、これは修正可能なリスク因子でもあります。そのため、一貫した CPAP 使用の重要性が強調されています。OSA 治療のゴールドスタンダードである CPAP 療法は、その有効性が広く認められています。正しく使用すれば一晩で効果を発揮し、必要なのは空気だけで、薬、手術、侵襲的な処置は一切不要です。

本研究は、睡眠医学および呼吸器学の世界的な専門家チームによって主導され、レスメドの支援を受けて実施されました。その結果、CPAP 療法を使用する OSA 患者には以下の効果が認められました。

- 全死亡リスクが 37%低下（CPAP を使用しない OSA 患者と比較）

¹ Benjafield AV, Ayas NT, Eastwood PR, Heinzer R, Ip MSM, Morrell MJ, Nunez CM, Patel SR, Penzel T, Pépin JL, Peppard PE, Sinha S, Tufik S, Valentine K, Malhotra A. Estimation of the global prevalence and burden of obstructive sleep apnoea: a literature-based analysis. *Lancet Respir Med*. 2019 Aug;7(8):687-698. doi: 10.1016/S2213-2600(19)30198-5. Epub 2019 Jul 9. PMID: 31300334; PMCID: PMC7007763.

² Young T, Evans L, Finn L, Palta M. Estimation of the clinically diagnosed proportion of sleep apnea syndrome in middle-aged men and women. *Sleep*. 1997 ;20(9):705-6

³ Yeghiazarians Y, Jneid H, Tietjens JR, et al. Obstructive Sleep Apnea and Cardiovascular Disease: A Scientific Statement From the American Heart Association. *Circulation* 2021; 144(3): e56-e67.

- 心血管疾患による死亡リスクが 55%低下し、OSA 患者における心臓の健康を支える効果が強調される
- 「用量反応関係（dose-response relationship）」を確認—CPAP をより一貫して使用するほど、生存率の向上が見られる

この結果は、OSA 患者にとって CPAP 療法が命を守る治療法であることを、これまでで最も強固なエビデンスとして示しています。

レスメドの最高医療責任者であるカルロス・M・ヌネス医学博士は次のように述べています。「OSA のある方にとって、CPAP を使用するかしないかは、文字通り生死を分ける問題になり得ます。数十年にわたる研究で、CPAP が生活の質を向上させることは証明されてきました。そして今回の研究は、CPAP が OSA 患者の寿命を延ばすという、これまでで最も包括的なエビデンスを提供しています。」

このメタ分析は、これまでに実施された同種の研究の中で最大規模となり、30 の研究から 100 万人以上の OSA 患者のデータを統合しています。これには、10 件のランダム化比較試験（RCTs）および 20 件のリアルワールドエビデンス研究（RWEs）が含まれています。研究者たちは、平均約 5 年間の追跡期間を通じて長期的な転帰を分析し、CPAP 療法が OSA 患者の全死亡率および心血管死亡率を低下させるという仮説を検証しました。

アトゥル・マロートラ医学博士（本研究の最終著者、カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部 呼吸器・救命救急・睡眠医学研究主任、UC サンディエゴ・ヘルス呼吸器専門医）が次のように述べています。「この研究の結果は、CPAP 療法が OSA 患者にとって命を救う治療法であることを強く示唆しています。それは単なる睡眠時無呼吸症候群の治療にとどまらず、心臓の健康を支え、寿命を延ばすことにもつながります。」

ジャン・ルイ・ペパン教授（研究の共著者、グルノーブル大学病院 臨床生理学教授、HP2 研究所 INSERM U1300 所長）は次のように述べています。「これらの発見は、警鐘を鳴らすべきものです。CPAP 療法を 1 時間追加するごとに、OSA 患者の生存率が向上することがわかります。CPAP 療法を継続している患者は、単に夜間の呼吸が楽になるだけでなく、寿命を延ばす可能性があるのです。」

研究結果の全文は、『The Lancet Respiratory Medicine』に掲載された論文をご覧ください。

CPAP 療法がどれほど人生を変える可能性があるかについて詳しく知りたい場合は、

<http://www.resmed.com/video-story-gallery> をご覧ください。

Study authors: Adam V. Benjafield PhD; Prof Jean-Louis Pepin; Prof Peter A. Cistulli; Alison Wimms PhD; Florent Lavergne MSc; Fatima H. Sert Kuniyoshi PhD, Sibyl H. Munson PhD, Brendan Schuler BS; Shrikar Reddy Badikol MSc; Kelly C. Wolfe BS; Leslee Willes MPH; Colleen Kelly PhD; Tetyana Kendzerska MD; Dayna A. Johnson PhD; Prof Raphael Heinzer MD, Prof Chi-Hang Lee MD, Prof Atul Malhotra MD.

レスメドについて

レスメド（NYSE：RMD、ASX：RMD）は、人々が愛する、人生を変えるようなヘルスケア技術を生み出しています。当社は、140 か国以上で何百万人もの人々がより幸せで健康的な生活を送れるよう、革新的な技術の開発にたゆまぬ努力を続けています。当社の AI を活用したデジタルヘルスソリューションや、クラウド接続デバイス、インテリジェントソフトウェアは、在宅医療をよりパーソナライズし、よりアクセスしやすく、より効果的なものにします。

在宅ケアを通じたより良い睡眠と呼吸で、すべての人々が潜在能力を最大限に発揮できる世界を思い描いています。当社が睡眠の健康をどのように再定義しているかについては、Resmed.com で詳細をご覧ください
@Resmed をフォローしてください。

公式ホームページ：<https://www.resmed.jp/>

睡眠専門情報サイト「レスメド スリープスポット」：<https://sleepspot.resmed.jp/>

公式 X：<https://twitter.com/resmedjp>

公式 Instagram：<https://www.instagram.com/resmedjp/>

公式 YouTube：<https://www.youtube.com/@resmedjapan518/featured>

【報道関係のお問い合わせ】

レスメド広報事務局（共同ピーアール内） 福井・菊地・横山（由）

TEL：03-6260-4856

MAIL：resmed-pr@kyodo-pr.co.jp